

2020年度理系チャレンジ講座（第3回）を実施しました

7月22日（水）に理工学部原恭彦先生を講師に迎え、「数理の世界（統計科学とAI）」というテーマで、理系チャレンジ講座の第3回を実施しました。遠隔配信した中津南、安心院、国東、三重総合、白杵、大分西、竹田、大分鶴崎、大分雄城台の9校144名が受講しました。

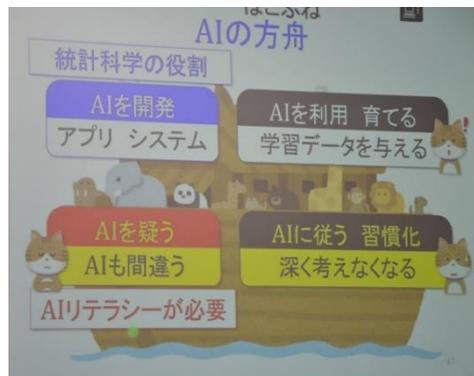


はじめに「統計科学とAI」についてお話しされま

した。理論的確率と経験的確率の説明を行い、経験的確率を使うとシミュレーションの魔法が使えると説明されました。AIは簡単に言うとプログラムであり、国や政府の戦略として現在も着々と活用が進められているのが現状だそうです。次に「確率とAI」についてです。ある人気番組のゲームをもとにお話しされました。理論的確率を正しく求めることは難しいが別のアプローチがあり、これが経験的確率でありAIも同じしくみだそうです。



後半は「車の自動運転のAI」について、AIは実際にはいろいろなことを組み合わせられて複雑なのだそうです。かなり単純化してお話ししてくださいました。キャラクターを認識させるシステムを例に挙げ、「AIに学ばせるためにはどのようにしたらよいか」など生徒に具体的な問いを投げかけ、考える講義をされました。



最後に「AIの方舟」という話をされました。AIを開発する人だけでなく、一般の人でも学習データを与える意味でAIを育てている。しかし、AIを使うと便利なので、深く考えなくなる恐れがある。また、AIも間違えることがある。こういう方舟に全員が気づかないうちに乗っているとまとめられました。



授業後に実施したアンケートでは「総合的に判断して授業がよかった」（98%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（100%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（99%）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（95%）、「映像はよく見えた」（97%）という結果が出ました。